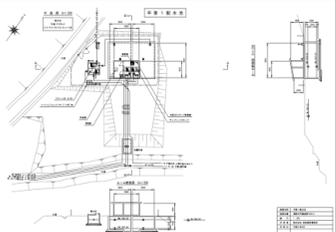


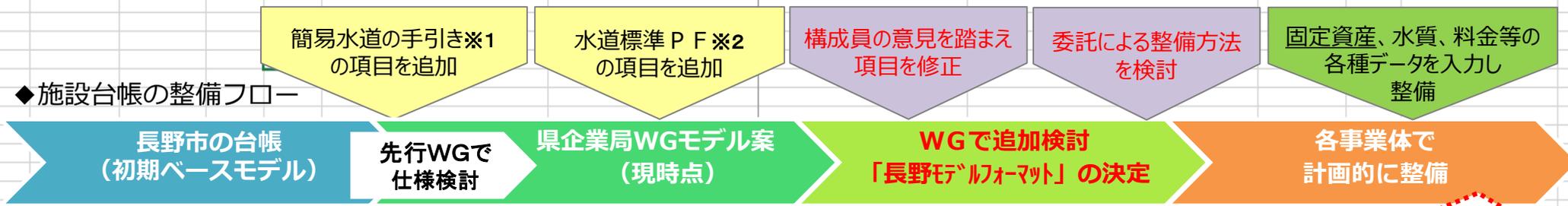
「長野モデル」(統一フォーマット)による水道施設台帳のデジタル化について

「長野モデル フォーマット」のベースとする長野県企業局WGモデル(案) (入力項目を統一しエクセル等で整備した水道施設台帳)

区分	施設名称	施設の住所	緯度	経度	設備名称	工種区分	構造又は形式	能力/規模(容量、寸法等)	標高、水位	数量	製造会社
配水	●●配水池				用地	土地					
	 <p>施設名称をクリックすると図面が表示されるイメージ</p>										
					次重塩注入室	建物					
					配水池	構築物	送配水及び給水設備				
					フェンス	構築物	その他構築物				
					受電柱	機械装置	電気設備				
					水位計	機械装置	計装設備				
					流量計	機械装置	計装設備				
					計装盤	機械装置	計装設備				
					テレメーター	機械装置	計装設備				
					残留塩素計	機械装置	計装設備				
					次重塩注入機	機械装置	塩素滅菌設備				

＜統一フォーマットでデジタル化することのメリット＞

- ★整備すべき情報項目が明確になり、目標が立てやすい
 - ★自治体間で施設情報を共有できる
- 水道施設の適切な管理（維持管理水準の底上げ）が可能となる
 - アセットマネジメントの精度向上が図られる
 - 大規模災害時等の危機管理体制の強化が図られる
 - ・災害時に外部からの応援受入がスムーズ（早期復旧）
 - 広域連携や官民連携等のための基礎資料として活用できる
 - ・近隣と施設管理で連携しやすい（共同で委託や人材確保など）
 - ・正確な水運用の広域連携シミュレーションができる
 - ・監視、台帳管理等のアプリケーションが利用可能



※1「簡易水道等小規模水道における水道施設台帳作成の手引き」p8～p9
 ※2 経産省と厚労省がまとめた「水道情報活用システム」を構成するプラットフォーム

改正水道法の台帳整備期限
令和4年9月30日

※ 水道施設台帳に入れ込む「施設図・写真」等の取扱いは、今後のワーキンググループで検討していく。